教職課程ガイドブック 龍谷大学履修要項ウェブサイトより抜粋

https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html#p04

2. 教職に関する科目

免許治		中学校教諭、高等学校教諭一種免許状					
科目区分	各科目に含める必要事項	本学開講科目	単 履修		分野	配当年次	備考
教科の指導法に	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	社会科・地理歴史科教育法 I	2		随意	3	
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2			3	※1 「各教科の
		社会科・公民科教育法 I	2	※ 1		3	必修科目一覧」 参照
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2			3	
教育の基礎的	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育原論A	2	2単位	教養	2	A・B両科目履修
		教育原論B	2	必修	教育	2	が望ましい
	教職の意義及び教員の役割・職務 内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必修 随意		2	
	教育に関する社会的、制度的又は 経営的事項(学校と地域との連携	学校教育社会学	2	2単位	随意	2	
理解(及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	2	必修	専攻	2	
に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達 及び学習の過程	学習・発達論A	2	2単位	教養教育	2	A・B両科目履修
		学習・発達論B	2	必修		2	が望ましい
	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論		必修	随意	2	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必修	随意	2	
	道徳の理論及び指導法	道徳教育指導法	2	※ 2	随意	3	※2中学校免許取 得希望者は必修
及び生徒指導、教育相談等に関する科目道徳、総合的な学習の時間等の指導法	総合的な学習の時間の指導法 (高校は「総合的な探究の時間の 指導法」) 特別活動の指導法	総合的な学習の時間・ 特別活動論		必修	随意	3	
	教育の方法と技術 情報通信技術を活用した教育の 理論及び方法	教育の方法と技術 (ICT活用含む)		必修	随意	3	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論 及び方法	生徒・進路指導論		必修	随意	2	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談		必修	随意	3	
教育実践に関する	教育実習	教育実習指導 I	1	必修	随意	4	
		教育実習指導ⅡA	4	1科目	11st	4	※3中学校免許 取得希望者必修
		教育実習指導ⅡB	2	必修	随意	4	※3高等学校免許 取得希望者必修
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	必修	随意	4	* 4
	合 計	中学校:37単位以上 高等学校:29単位以上				9単位以上	

※1 各教科の必修科目一覧

免許状取得に関する教科教育法の修得科目の組み合わせは、以下のとおりです。

取得免許教科	必修科目					
中一種免 「社会」 (計8単位必修)	社会科・ 地理歴史科教育法 I (2単位)	社会科・ 地理歴史科教育法Ⅱ (2単位)	社会科· 公民科教育法 I (2単位)	社会科· 公民科教育法Ⅱ (2単位)		
高一種免 「公民」 (計4単位必修)	社会科· 公民科教育法 I (2単位)	社会科· 公民科教育法Ⅱ (2単位)	_	_		

- ※2 高校免許取得希望者が、中学校免許取得に必要な「道徳教育指導法(2単位)」を修得した場合は、 法律で定める「大学が独自に設定する科目」に充てられます。ただし、本学で高等学校一種免許 状取得に必要として開講している「教科及び教職に関する科目」には充当できません。
- ※3 中高両免許取得者は「教育実習指導 IIA」(4単位)を登録すること。詳細については、9ページ「3.教育実習について」を参照してください。
- ※4 「教職実践演習」の履修については、14ページ「5. 教職実践演習の履修について」を参照してください。

履修年次は変更になる可能性があるため、必ず履修登録時に時間割等で確認をしてください。

高等学校教諭一種免許状

公民 () 内は単位数

ALC						\ /	1716中区级
免許法施行規則に	本学開講の関連科目及び単位数						
定める科目区分	必修 単位	- 1 カス 1 ス 1 ス 1 ス 1 ス 1 ス 1 ス 1 ス 1 ス 1		分野	選択科目	分野	
「法律学(国際法	4	法学概論	(4)	専攻	社会保障論	(4)	専攻
を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)		政治学概論	(4)	専攻			
		《2科目中1科目必修》					
「社会学、経済学(国	12	社会学概論	(2)	専攻	経済原論	(4)	専攻
際経済を含む。)」		社会学への招待	(2)	専攻	地域社会学	(2)	専攻
		社会福祉学への招待	(2)	専攻	文化と表象の社会学	(2)	専攻
		公共社会学 I	(2)	専攻	宗教社会学	(2)	専攻
		社会調査入門	(2)	専攻	環境社会学	(2)	専攻
		社会イノベーション実践論	(2)	専攻	ジェンダーと家族の社会学	(2)	専攻
「哲学、倫理学、	4	哲学概論	(4)	専攻			
宗教学、心理学」		宗教学概論	(4)	専攻			
		《2科目中1科目必例	修》				
計	必修科目20単位を含め、計30単位以上を修得						

履修上の注意

必修科目20単位を含め、計30単位以上を修得しなければなりません。 必修科目中、規定以上に修得した科目は選択科目として認められます。